

# 健康・スポーツ関連資格

(経営情報学部総合経営学科)

## 健康・スポーツ関連資格

(経営情報学部総合経営学科)

### 資格①：健康運動実践指導者（受験資格）

- 認定団体：(公財)健康・体力づくり事業財団
- 資格の概略：健康づくりのための運動指導者に与えられる称号の一つである。運動生理学などの科学的知識に基づいた健康づくりのための運動指導ができ、自ら見本を示せる実技能力（レジスタンスエクササイズ、エアロビックダンス、水泳・水中運動等）と特に集団に対する運動指導技術に長けた者に与えられる。
- 認定方法：以下の所定の単位修得後、認定団体が行う試験（筆記および実技）に合格した者が認定される。
- 認定料：受験料25,713円  
登録申請料21,600円（5年間有効）
- 参考：(公財)健康・体力づくり事業財団  
<http://www.health-net.or.jp>

系列	科目名	単位	修得年次
学科共通 科目群Ⅴ	スポーツ科学Ⅰ a	1	1
	スポーツ科学Ⅰ b	1	1
	スポーツ科学Ⅱ a	1	2
	スポーツ科学Ⅱ b	1	2
専門基礎 科目群	生涯スポーツ概論	2	1・2
専門科目 群Ⅰ	スポーツ栄養学	2	2
	健康管理概論	2	2
	心と身体の科学	2	2
	運動生理学	2	2
	スポーツ心理学	2	2
	解剖生理学	2	2
	救急処置（実習を含む）	2	2
	ダンス	1	2・3
	水泳	1	2・3
	スポーツ医学	2	3
	健康運動指導法（実習を含む）	2	3
	体力トレーニング実習	1	3

## 資格②：スポーツリーダー

- 認定団体：(公財)日本スポーツ協会
- 資格の概略：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の一つで、地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる人材を養成する。日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格は、平成17年度より新制度が導入され、この資格が新たに設けられた。
- 認定方法：以下の所定の単位を修得後、申請した者が認定される。
- 認定料：6,480円（更新なし）
- 参考：(公財)日本スポーツ協会  
<http://www.japan-sports.or.jp>

系列	科目名	単位	修得年次
専門基礎 科目群	生涯スポーツ概論	2	1・2
	スポーツ社会学	2	1・2・3
専門科目 群 I	健康管理概論	2	2
	心と身体の科学	2	2
	スポーツ心理学	2	2
	救急処置（実習を含む）	2	2
	スポーツ経営学	2	2・3
	スポーツ医学	2	3
	スポーツと地域振興	2	3

**資格③：アシスタントマネジャー（受験資格）**

- 認定団体：(公財)日本スポーツ協会
- 資格の概略：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の一つで、総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートする。
- 認定方法：以下の所定の単位を修得後、試験に合格した者が認定される。
- 認定料：受験料10,800円  
資格登録料10,000円（4年間、初回登録時のみプラス3,000円）  
修了証3,240円（スポーツリーダーとあわせて申請が必要）
- 参考：(公財)日本スポーツ協会 <http://www.japan-sports.or.jp>

系列	科目名	単位	修得年次
専門基礎 科目群	生涯スポーツ概論	2	1・2
	スポーツ社会学	2	1・2・3
専門科目 群 I	健康管理概論	2	2
	心と身体の科学	2	2
	スポーツ心理学	2	2
	救急処置（実習を含む）	2	2
	スポーツ経営学	2	2・3
	スポーツ医学	2	3
	スポーツと地域振興	2	3
	地域スポーツマネジメント論	4	3

**資格④：初級障がい者スポーツ指導員**

- 認定団体：(公財)日本障がい者スポーツ協会
- 資格の概略：18歳以上で、障がい者にスポーツの指導を行う者を養成する。上位資格として中級、上級がある。
- 認定方法：以下の所定の単位修得後、申請した者が認定される。
- 認定料：申請・認定料5,500円、登録料3,800円  
資格を更新するためには登録料3,800円を毎年納付することが必要。
- 参考：(公財)日本障がい者スポーツ協会 <http://www.jsad.or.jp>

系列	科目名	単位	修得年次
学科共通科目群 V	スポーツ科学Ⅱ a	1	2
	スポーツ科学Ⅱ b	1	2
専門基礎科目群	生涯スポーツ概論	2	1・2
	スポーツ社会学	2	1・2・3
専門科目群 I	スポーツ医学	2	3
エクステンションプログラム	障がい者スポーツ大会ボランティア	—	1・2・3・4

## 資格⑤：BLS

- 認定団体：(特)日本ライフセービング協会
- 資格の概略：日本ライフセービング協会の認定資格の一つで、救命の連鎖を理解し心肺蘇生・AEDができる者を養成する。ライフセービング活動の導入資格でもある。
- 認定方法：救急処置を履修し、授業の中で試験（筆記および実技）を行い、合格した者が認定される。
- 登録料他：3,500円
- 参考：(特)日本ライフセービング協会 <http://www.jla.gr.jp>

系列	科目名	単位	修得年次
専門科目群 I	救急処置（実習を含む）	2	2

